

# 彩の歳時記

平成二十九年 五月

地球へのピクニック 谷川俊太郎

ここで一緒になわとびをしよう

ここで一緒ににおにぎりを食べよう

ここでおまえを愛そう

おまえの眼は空の青をうつし

おまえの背中はやもぎの緑に染まるだろう

ここで一緒に星座の名前を覚えよう 後略



屋外の活動が心地よい五月です。「ピクニック」は、マネの絵画「草上の昼食」に見られるように貴族の狩猟遊びが大衆化したもので、日本の古語では「野掛け」といい、平安貴族の野遊び。

戦後、交通手段の発達に伴い、家族で自然豊かな郊外に出かける「ピクニック」は、娯楽の中心でしたが、近年は多種・多様な大型娯楽施設の増加で「ピクニック」という言葉自体、失われつつあるようです。

1956年の映画「ピクニック」は古き良きアメリカの青春映画。アメリカの若者の生活に憧れを抱いた世代も新しい高齢者像を示す世代となり、失われつつある言葉達に息を吹き込んでゆきたいものです。



## 五月の催事

文京つつじまつり(根津神社) 4/8~5/11 藤まつり(亀戸天神) 4/5~5/7  
神田祭(神田明神) 5/11 三社祭(浅草神社) 5/19~5/21

## 五月の暦

五月、早月、皐月(皐は気が澄み渡るの意) 五月晴、五月闇、五月雨など



## 一日

メーデー 1886年、シカゴで「日の労働時間を八時間に」のストライキが起き、三年後のこの日パリに集まった世界中の労働者の代表が労働者の祝日とした。日本では1920年(大正九年)から。

## 二日

八十八夜【雑節】立春から88日目。「八十八夜の別れ霜」等と言われる遅霜の時期。本来は、夏の訪れを祝うヨーロッパの各地で催される五月祭。



## 三日

憲法記念日(祝日)「主権在民」「戦争放棄」「基本的人権の尊重」を三本の柱とする日本国憲法が1947年に施行された日。改憲派・護憲派のそれぞれが集会などを開催する。

## 四日

みどりの日(国民の休日) 自然に親しむとともにその恩恵に感謝し豊かな心をはぐくむ。



## 四日 修司忌

劇作家、映画監督、詩人、歌人、俳人、競馬評論家の顔を持つマルチアーティスト。

寺山修司【1935~1983】の忌日。名言も多く「言葉の錬金術師」の異名を持つ。



職業 寺山修司

「この世でいちばん遠い場所は 自分自身のところである」「書を捨て街に出よう」

## 五日

こどもの日(祝日) 1948年(昭和23年)に制定。この日、竹宮恵子(漫画家/京都精華大学学長)のトークショーを開催。

端午(たんご)の節句『菖蒲の節句』 端(はじめ)の午(うま)という意味で五月最初の午の日

に由来。強い香気で 厄を祓う菖蒲が尚武に通じることから、男の子の節句に。



職業 寺山修司

## 六日

立夏【二十四節気】 本州各地では田植や田起こし、田に水の張られる頃。

## 十四日

母の日 母の日の母を泣かしてしまひけり 黛まどか【1962~】 俳誌「月間ヘップバーン」代表

## 二十九日

白櫻忌 情熱的な歌集『みだれ髪』(1901年)、日露戦争時の

詠歌「君死にたまふことなかれ」で有名な歌人・詩人

与謝野晶子【1878~1942】の忌日。遺作『白櫻集』

に因む。『源氏物語』の現代語訳でも知られる。

やは肌のあつき血汐にふれも見でさびしからずや道を説く君



## 五月の歌

ピクニック 1962年 NHK みんなのうた 曲 イギリス民謡

訳詩の萩原英一【1887~1954】は大正昭和のピアニスト。バイエル編者。

丘を越え 行こうよ 口笛吹きつつ  
空は澄み 青空 牧場を指して  
歌おう 朗らかに 共に手をとり  
ランラララ ララララ  
ララララ あひるさん(ガアガア)  
ララララ 山羊さんも(メエー)  
ララ 歌声合わせよ 足並み揃えよ  
今日は愉快だ